

# 村上市地域安全克雪方針策定ワークショップニュース No.1

第1回『除排雪に関する地区の課題を抽出し、課題を解決するための目標を設定する』

■作成

村上市 企画戦略課企画政策室（担当：山田）

TEL：0254-53-2111（内線3810・3811）

FAX：0254-53-3840



## ワークショップの概要

### 目的

除排雪に関する地域の課題の共有や、将来のあるべき姿について議論や検討を行い、その内容を各地域での取組や課題解決に役立てるとともに、意見を地域安全克雪方針に反映する。

### 第1回開催概要

日時	令和4年10月26日（水） 18:30~20:00
場所	村上市教育情報センター 会議室 A・B
参加人数	18人（意見交換は3グループに分かれて実施）
内容	<b>説明</b> ①村上市の概況 ②除排雪に関する現状と課題 ③他市町村の取組事例
	<b>意見交換</b> ①地域の除排雪に関する課題 ②課題を解決するための目標

### スケジュール

回	開催日	検討内容
第1回	10月26日（水）	・除排雪に関する地区の課題を抽出し、将来の目標を設定する
第2回	11月29日（火）	・目標の達成にむけて必要な地区のルールや取組を検討する
第3回	1月22日（日）	・降雪期を迎えてこれまでの検討内容を振り返る

### 次回

日時：11月29日（火）18:30~

会場：村上市情報教育センター 会議室 A・B

テーマ：『目標の達成に向けて、必要な地区のルールや取組を検討する』

次回は、住民・事業者等の様々な立場から、自分たちでできることを考えましょう



## 意見交換のまとめ

### 地域の除排雪に関する課題

#### ●高齢化

- ・高齢者一人で雪下ろしをしていて危険
- ・一人暮らしの高齢者が多く、除雪作業に困っている
- ・高齢者にとって除雪車が通ったあとの自宅前の雪の除去が大変
- ・高齢者宅の玄関～道路・ゴミステーション等の除雪が必要 等

#### ●除排雪の場所

- ・除雪後の道路が狭く、車や歩行者の通行が心配
- ・除雪車による除雪の時間が遅く、通勤・通学に間に合わない
- ・介護施設へ行くための除雪が必要
- ・ゴミステーション・消火栓周りの除雪が必要
- ・排雪場所の確保が必要
- ・空家が増えるとその周辺の除雪等に困る

#### ●人手不足

- ・除雪作業の協力が得られない
- ・雪下ろし業者や除雪オペレーターが減少 等

#### ●支援体制・方法

- ・身近なところに支援体制がない
- ・地区内でどのような体制をつくれればよいかわからない
- ・防災組織の意識づけ、予算付けが必要
- ・ボランティアは無料ではなく有料のほうがお互いにやりやすい

#### ●機械除雪

- ・除雪機械の操作が不安
- ・除雪機械を使うための講習会の開催が必要（けが予防）
- ・除雪車が通った後の雪の処理に苦労している
- ・タイヤショベルによる事故がある

#### ●費用の負担

- ・雪下ろしを業者に頼むと費用がかかる
- ・市からの補助は除雪機の燃料代のみで排雪トラックの燃料代は出ない



### 課題を解決するための目標

#### ① 人材の育成

- ・高校生や地域の若者による除雪
- ・子どものころからの意識づけ
- ・機械操作のための講習会の開催 等

#### ② 地域で除排雪をする仕組みづくり

- ・除雪オペレーター等の作業支援者への報酬等の仕組みづくり
- ・有償ボランティアの活用
- ・地域の課題や良かった点を共有する場の創出 等

#### ③ ルールの設定によるスムーズな除排雪の実施

- ・通学路・ゴミ捨て場など優先的に除雪をする場所の設定
- ・排雪場所や方法に関するルールの設定 等

#### ④ 地域の雰囲気づくり

- ・“地域で助け合う”という意識の醸成
- ・近所で日頃から声掛けができるような関係性の構築 等

### ＜説明と各グループの発表の様子＞



全体への説明



Aグループ



Bグループ



Cグループ

## ■各グループの意見

### ①地域の除排雪に関する課題

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
<b>安全対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口が減り多人数で<b>協力して除雪</b>ができないため、もしもの時に発見されにくい</li> <li>●<b>空き家</b>が多く、自宅付近の道路除雪ができない</li> <li>●<b>1人住まいの高齢者</b>宅の除雪が必要</li> <li>●<b>空き家</b>が増えた時の雪下ろしが大変になる</li> <li>●雪が多いときは高齢者が<b>一人で雪下ろし</b>をしており危険な時がある</li> <li>●高齢者の玄関口から一般道への道路の確保、ゴミステーションまでの<b>通路の確保</b>が必要</li> <li>●消雪パイプが数年前から故障して出ない</li> <li>●<b>排雪する場所</b>がない</li> <li>●集落内道路わきの水路に排雪しているが水路がつまる</li> <li>●空地等への<b>仮除雪場所</b>の確保が大切</li> <li>●町内の一般道は消雪パイプがあるところとないところの差が大きい</li> <li>●脇道<small>を</small>小型除雪機で除雪する。2名で実施し、1名はスコップで危険箇所を確認する</li> <li>●除雪車による除雪後の<b>固く重い雪</b>の後処理に苦労している</li> <li>●<b>消火栓周り</b>の除雪、見回りは重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●集落内の道路が狭いので除雪後さらに狭くなり子供たちの<b>通学路</b>の安全が確保できない</li> <li>●<b>通学路</b>の除雪が問題</li> <li>●小さな事故だとあまりそのことについて<b>話し合わない</b>が、積み重なると大きな事故につながる可能性がある</li> <li>●タイヤショベルの後方に対する<b>事故</b>がある。大きな除雪車だと同乗者がいるため事故はない</li> <li>●トラクターで集落の<b>防火水槽</b>等の除雪時に<b>民地の除雪</b>を行うが事故はない</li> <li>●<b>介護施設</b>へ行く為の除雪</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雪下しする時に仲間がいたら早く下ろすことができる</li> <li>●機械（除雪機）を使う上での<b>ケガ予防</b>（講習会の開催が必要）</li> <li>●<b>除雪機械の操作</b>の仕方に不安</li> <li>●機械を操作したときの<b>事故や怪我</b>などが心配。どのような保険があるのか</li> <li>●除雪により道路が狭くなり車や<b>子供の通行</b>が心配</li> <li>●除雪車が来るまでの<b>通学路</b>の安全確保</li> <li>●除雪車が通った後の雪の始末</li> <li>●<b>排雪する場</b>の確保。近くに排雪場が無い</li> </ul> 
<b>除排雪に関する支援・体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●何かあった後の<b>替わり</b>の人が不在</li> <li>●集落一斉雪下しが2回ほどあるが<b>人手を確保</b>することが難しい</li> <li>●雪下しをする人がおらず、いたとしても高齢者が多い</li> <li>●除雪を手伝う人も高齢者であり、<b>作業の限界</b>がある</li> <li>●<b>1人暮らしの高齢者</b>が多く除雪に困っている</li> <li>●若い人よりも高齢の人が、より除雪に<b>積極的</b></li> <li>●市の雪捨て場へ排雪するトラック等の<b>運搬手段</b>が不足している（区で1台しかない）</li> <li>●<b>若い人達の協力、ボランティア不足</b></li> <li>●<b>自主防災組織</b>の活用</li> <li>●<b>無料</b>のボランティアではなく、<b>有料</b>にした方がお互いにやりやすい面がある</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>高齢世帯</b>の前に除雪された雪がたまる</li> <li>●高齢者宅への雪下ろし（<b>人手がない</b>）</li> <li>●豪雪の場合、自宅だけで他に<b>手が回らない</b></li> <li>●除雪作業の<b>協力</b>が得られない</li> <li>●<b>通学路</b>の除雪が間に合わない</li> <li>●<b>ゴミステーション</b>の道路除雪</li> <li>●大型除雪機時間遅い</li> <li>●除雪時間が遅くなる時がある（<b>通勤・通学</b>に間に合わない）</li> <li>●作業員の<b>高齢化</b></li> <li>●除雪機の<b>オペレーター</b>が不足（平日）</li> <li>●大型除雪機での<b>排雪場所</b></li> <li>●<b>雪の捨て場</b>が少ない</li> <li>●家が密集している為<b>排雪の場所</b>がない</li> <li>●<b>排雪をする場所</b>がなくなる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災会のメンバーであっても、除排雪に対する<b>取組意識</b>が低い</li> <li>●組織の<b>意識</b>の考え方、<b>予算づけ</b>が課題</li> <li>●<b>予算づけ</b>が必要。飲み物や茶菓子などを用意する程度でもよい</li> <li>●ボランティアでやるのは限界がある（長つづきしない）</li> <li>●地域住民の<b>高齢化</b></li> <li>●屋根の雪下ろし <b>高齢化</b></li> <li>●高齢者にとっての除雪作業の<b>困難さ</b></li> <li>●15年後には<b>高齢化</b>により除雪する人がいなくなる</li> <li>●<b>1人暮らしの高齢者</b>が増えて、自宅の除雪が出来なくなってきた</li> <li>●<b>雪下し業者</b>の減少</li> <li>●自宅の除雪作業で<b>手いっぱい</b>。他の家に手が回らない</li> <li>●身近な所に<b>支援体制</b>がない</li> <li>●消雪パイプはあるが、雪は消えない</li> <li>●集落内でどのような<b>体制</b>をつくれればよいかわからない。日毎に担当を決めるのがよいか、順番を決めればよいか</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雪下しを業者に頼むと<b>費用</b>がかかる</li> <li>●<b>補助</b>は除雪機の燃料代だけで、排雪のトラックの燃料代は出ない</li> <li>●通常は市道<small>のみ</small>の除雪とし、自宅内の除雪は<b>各自</b>でしてもらいたい</li> <li>●小型除雪機を使用していると自宅の除雪を頼まれることもあるが、どこまでやっていいかわからない（<b>ルール</b>の明確化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消雪パイプ地下水問題</li> <li>●<b>空き家</b>対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農作業用のトラクターを使って雪処理をしている（朝日地区）</li> </ul> 

### ②課題を解決するための目標

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
<b>安全対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域での<b>声掛け</b></li> <li>●日常的に<b>信頼関係</b>を築いておくことが大事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通学路やゴミ捨て場周辺など、除雪場所に<b>優先順位</b>をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性でも<b>だれでも</b>機械を操作できる</li> <li>●<b>排雪する場</b>が近くにある</li> </ul>
<b>除排雪に関する支援・体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアに頼るまえに、身近な家族や地域で助け合うために<b>自分たち</b>でできることをやる。そのために子どもの頃から教えておく</li> <li>●有償ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生や地域の若者が除雪困難世帯を<b>支援する仕組み</b>づくり</li> <li>●作業支援者に何らかの<b>報酬</b>を与える仕組みづくり</li> <li>●<b>雪捨て場</b>に関するルールづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で除排雪をする<b>仕組み</b>ができています</li> <li>●地域<small>のみんな</small>の<b>助け合い</b>の意識が高い！</li> <li>●一冬が終わった後に、各集落・地域が互いの状況（良かった点や問題点など）を<b>共有する場</b>がある</li> </ul>